

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう津山		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成からモニタリング、見直しまでが非常に丁寧に行われており、職員間での共有体制も整っています。アセスメントに基づいた支援提供ができており、計画に沿った支援の実施率も高い点が強みです。	支援開始前の打合せを毎日行い、その日の役割分担や配慮事項を共有しています。チーム支援が機能しています。	フォーマルアセスメントの整理・導入を進め、より客観的評価に基づく支援につなげていきます。
2	保護者満足度が高く、「安心して任せられる」「丁寧に話を聞いてもらえる」「寄り添った支援」といった声が多く見られます。日常的な情報共有や面談対応が信頼関係につながっています。	活動プログラムが固定化しないよう曜日担当制を取り入れ、内容が重ならない工夫をしています。多様な経験機会を提供できています。	職員全体で会議内容や支援方針を共有できる体制を強化し、理解の均一化を図ります。
3	安全管理体制が非常に充実しており、マニュアル整備、BCP策定、避難訓練、防災センターでの学習など、非常時対応への備えが整っています。リスク管理意識の高い運営ができています。	コドモンを活用した写真付き報告や日々の連絡により、保護者が様子を具体的に把握できる体制を整えています。	地域交流や他施設との連携を広げ、社会参加機会を増やしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後の振り返り時間が十分に取れない日があり、翌朝共有に回るケースがあります。特にパート職員との共有が課題です。	送迎業務や時間的制約により、振り返り時間確保が難しい日があります。	短時間でも振り返り共有ができる仕組みづくりを行います。
2	自己選択の機会が少なく、集団活動中心になりやすい傾向があります。	人員配置がギリギリになる日があり、個別活動時間確保に影響します。	選択活動や自己決定場面を意識的に取り入れます。
3	地域交流や地域に開かれた取り組みがまだ限定的です。	地域連携は調整・安全面配慮が必要で計画的実施が求められます。	地域活動や外部交流を段階的に増やしていきます。